

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はびねす			
○保護者評価実施期間	R6年 11月 25日		～	R6年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	R6年 11月 25日		～	R6年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験が出来るサービスの提供を行っている。	長期休暇等を利用し、日々様々な体験ができるようなイベントの提供を行っている。	毎年同じ場所ではなく様々な場所に行くことが出来るようなサイクルを作っていきたい。
2	運動の基礎をはびねすで行うだけでなく、体育館等の施設を利用して試合で実践や技術向上が出来る機会を設けている。	チームを学年で区切るのではなく、個人の性格や力量を考慮したチーム編成をすることで個々に合った環境設定をしている。	・より広い施設を借りて実践の機会を増やしたい。 ・他事業所と対戦し、団結力を深める場を設けたい。
3	個人の意見を伝えたりグループ活動で協調性の向上や切り替えのメリハリをつけたりすることができるよう、自由活動の時間とプログラム活動の時間が設けられている。	・苦しいことも楽しんで伸ばすことが出来るようなプログラムを考案している。 ・長期間継続して完成させる活動も行っている。	子ども達の好きなことだけではなく、やってみたいことや挑戦してみたいことを聞き取り、取り入れたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パニックを起こした際の静養室がない。	部屋に構造や予算の関係で、現時点では作ることが難しい。	パーテーションで仕切りを作る等子供たちが落ち着くことが出来る環境を作る。
2	外部でパニックを起こした子が出た際、落ち着けるために移動させることが難しいことがある。	女性スタッフしかいない場面でパニックが起きた場合力負けしてしまうため。	男性スタッフ・女性スタッフの両方の配置をする。
3			